

県政だより みえ

三重県の県政情報をお届けします

6

平成29年(2017)

No.395

- 広報紙
毎月1日発行
- データ放送
毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

知事が行く!
突撃取材!

Part2



～100年先も愛される鉄道へ～

地域の魅力を発信
するアイデア列車

裏表紙をご覧ください。

父と子今しかできないことがある

～6月は『みえの育児男子推進月間』です～

みんなで男性の 子育てを応援!

三重県では、『みえの育児男子プロジェクト』として、「子育てには男性の育児参画が大切」という考え方が職場や地域社会の中で広まるよう、家族での話し合いや理解のもと、その人なりの方法で、男性が積極的に育児に参画することを応援していきます。今号では、県内で取り組みが進む男性の育児参画について紹介いたします。

6月16日(金) 22時15分から、三重テレビ「県政チャンネル」輝け!三重人」で、この内容について放送します。



みえの育児男子ベストショット賞
(みえの育児男子フォトコンテスト) より

特集 1

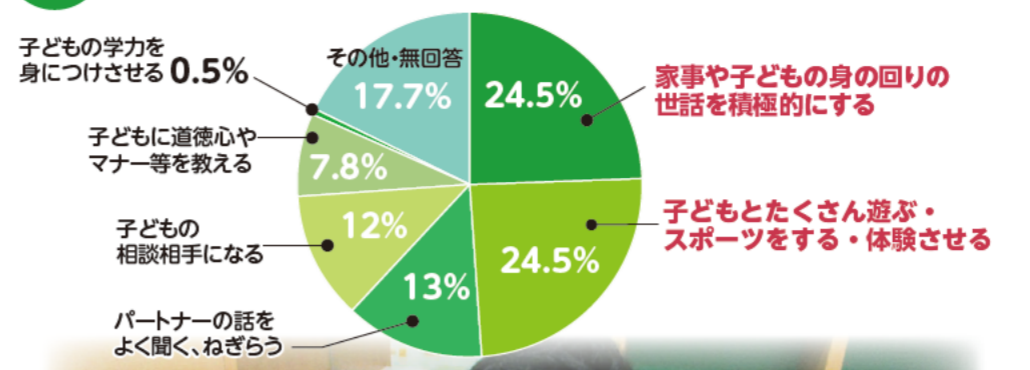
自分らしく子育てを楽しもう！ みえの育児男子プロジェクト

就学前の子どもがいる県内の男性が平日に家事や育児に関わる時間は1時間25分と、女性の9時間4分と比べて、大幅に少ないという結果が明らかになっています。*

一方別の調査では、男性が育児に積極的に参画することに「賛成」という意見が、若い世代ほど増えていることも分かりました。*
県では「みえの育児男子プロジェクト」として、家族や企業、地域の皆さんとともに、すべての父親が今できること、今しかできないことを改めて考え、主体的に子育てに関わる事ができるよう、男性の育児参画を積極的に応援しています。

*1 平成25年度みえ県民意識調査
*2 「みえの子ども白書2016」を作成するに当たり実施したアンケート

ママに質問！ 子育てに関して父親に最も果たしてほしい(最も大切な)役割は？



ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ 事例集より

自然と遊ぶ、わが子と遊ぶ

子どもの頃の自然体験が豊富な人ほど、大人になって「最後までやり遂げたい」「もっと深く学びたい」という意欲が強いというデータがあります。*
また、上記のグラフの通り、母親が子育てに関して父親に期待する役割として、「家事や子どもの身の回りの世話を積極的にする」と並んで、「子どもとたくさん遊ぶ・スポーツをする・体験させる」と答えた割合も多いという調査結果もあります。

県では、自然体験を通じて親子がじっくり向き合い、子どもの生き抜いていく力を育む子育ての魅力や効果を実感してもらおう機会を提供しています。



みえの育児男子親子キャンプ

*3 平成22年度国立青少年教育振興機構調査

イクメンだけが父親にあらず

家事や育児を完璧にこなす「イクメン」だけが理想の父親の形ではなく、限られた時間の中でも家族や夫婦で話し合いながら、自分なりのスタイルで育児に関わっていくことが大切です。

県では、男性の皆さんに、まずは小さな一歩からでも踏み出していただけるよう、積極的に育児に取り組んでいる男性の実践事例の発信などを通じて、普及啓発に取り組んでいます。



ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ 事例集より

特集 2

子ども一人ひとりが、その子らしく豊かな人生を送るために 三重県立子ども心身発達医療センター

県では、発達支援が必要な子どもが健やかに成長できるように、子ども一人ひとりの発達に関する専門「医療・福祉」機関である「三重県立子ども心身発達医療センター」を6月1日に開設しました。
センターには特別支援学校も併設し、医療・福祉・教育が連携した総合拠点として、市町と連携し、身近な地域で子どもや保護者が支援を受けられるよう、発達支援体制の強化を図ります。

1

1 ことごとからだの両面から専門性の高いチーム医療を実施

医師、看護師、保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員等のさまざまな専門人材が連携し、医療・福祉サービスを提供します。



子どもの心身の成長・発達や社会における適応力を育成します

2

2 市町の発達支援体制を整備

巡回療育・発達相談障がいのある子どもが、身近な地域で必要な支援を受けられるよう、専門スタッフが関係職員の技術支援や助言指導等を行います。
●市町との連携
市町の「発達総合支援室」等と連携することで、適切な発達支援の体制づくりを進めています。



3

3 医療・福祉・教育が連携したサービスを提供

小児医療拠点である三重病院との連携
三重病院と連携し、より良い医療・福祉サービスを提供します。
●併設する「かがやき特別支援学校との連携」
センターを利用される子どもの教育相談や、退院に向けた復帰支援、復帰後の学校等への支援を行います。

●リハビリテーション
●通所・短期入所サービス
障がいや発達に課題のある子どものリハビリテーションや、成人の方も含めた通所・短期入所サービスの提供を行います



生活リズムを整え、対人スキルが向上するよう支援します

●デイ・ケア

問い合わせ先／健康福祉部 子ども・家庭局 子育て支援課
☎059・224・2247
☎059・224・2247
☎059・224・2270
✉kodomok@pref.mie.jp



所在地：〒514-0125 三重県津市大里窪田町340番5



6月1日(木) 開設

センターの利用について 診療科目 整形外科、小児整形外科、児童精神科、リハビリテーション科
○外来受付時間 8時45分～12時、13時～16時30分
○休診日 土曜日および日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
＜受診の際の注意点＞
診療は完全予約制です。初診の方は予約の電話を入れてからお越しください。また、外来診療は、6月8日(木)より開始します。
三重県立子ども心身発達医療センター
[総合受付] ☎059・253・2000
[初診予約専用ダイヤル] ☎059・253・2020
※予約受付時間 9時～12時、13時～16時30分
三重県立子ども心身発達医療センター 🔍 検索

みえの育児男子HANDBOOK
県では、多くの「みえの育児男子」から子育て中の失敗談や悩みなどリアルな声を集めたハンドブックを刊行しています。子育て中の男性が共感できる内容となっています。ぜひご覧ください。
みえの育児男子ハンドブック 🔍 検索
問い合わせ先／健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課
☎059・224・2304
☎059・224・2270
✉shoshika@pref.mie.jp

募集
第4回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ募集集中！
ステキな育児をしている男性や、イクボスなどを大募集！とっておきのエピソードや実践事例も大歓迎です！
【募集内容】
●男性の育児休業取得にまつわる体験談やエピソード
●男性の子育てにまつわるエピソードや実践事例
●仕事と家庭の両立を応援してくれる経営者や上司などのイクボスの紹介
【募集締切】平成29年8月31日(木)
みえの育児男子親子キャンプ参加者募集集中！
「1日3子どもと接する時間が少ない」「子どもと自然体験を楽しみたい」「そんな親のため、1泊2日のキャンプを行います。」
【開催日時・場所】
●9月2日(土)～3日(日)
第1回 青川峡キャンプパーク(いなべ市)
●9月30日(土)～10月1日(日)
第2回 キャンプ・イン・海山(紀北町)
【募集締切】平成29年7月31日(日)
※応募方法などの詳細はホームページをご覧ください。お気軽にお問い合わせください。
みえの育児男子プロジェクト 🔍 検索



~100年先も愛される鉄道へ~

地域の魅力を発信するアイデア列車

地域の宝物として愛される鉄道

今回訪れたのは、昨年、開業100周年を迎えた伊賀線を運営する伊賀鉄道。地域の皆さんと力を合わせ、アイデア満載の電車を走らせていると聞き、上野市駅へ。常務の榎本方士さんと、イベントの企画運営などに協力している『伊賀鉄道友の会』会長の池澤素直さんを訪ねました。



ホームには、車体に描かれた鋭いまなざしが印象的な青い忍者列車が停車中。なんと、伊賀鉄道には、青、緑、ピンク、三つの忍者列車があるので。デザインは漫画家の松本零士さんが手がけています。次に案内されたのは、緑の忍者列車。「緑の忍者列車は、昨年、みえ森と緑の県民税の交付を受け、車内を木質化した『木育トレイン』です」と榎本常務。早速乗り込んでみると、使われているのはもちろん県産材。ほかに木の香りを感じる魅力的な造りです。国内外のお客さんからも「乗ってよかった」と好評なもの納得です。そんな伊賀鉄道の魅力を池澤会長に聞くと「単なる移動手段だけではなく、宝物ですね。100年先も

走っているよう応援したい」、榎本常務は、「地元の方やボランティアの方が愛着を持って伊賀鉄道を支えてくれています」と答えてくれました。地域で支える鉄道、素晴らしいですね。

みんなが楽しみながら支える鉄道

続いて、忍者をはじめ、さまざまなアイデア列車を企画する池澤会長に聞きました。「電車の中で伊賀名産の洋菓子をいただく『甘いもん とれいん』や、松尾 芭蕉にちなんだ『俳句列車』などがあります。今後も伊賀の人をはじめ、全国の鉄道ファンなどと、みんなで伊賀鉄道を盛り上げたい」と言います。また、榎本常務は「通勤や通学などの移動手段として安全第一の運行はもちろん、伊賀の観光資源を生かし、乗ること自体が楽しくなる企画を考えたい」と話してくださいました。伊賀鉄道は、地域の皆さんの熱い思いに後押しされ、走り続けています。皆さんも、伊賀観光を兼ねて乗車してみませんか。



取材/知事 鈴木英敬



三重を舞台に描く夢



車内の木質化は、壁材の不燃処理や木製の吊り輪の耐久性を出すのに苦労したそうです。



電車内や駅のホームなどあちこちで忍者が現れます。



忍者列車を活用したアイデアは外国人観光客の方にも好評なんだそうです。



駅には、忍者列車のデザインを手がけた松本零士先生の銀河鉄道999のブロンズ像があります。

- 「知事が行く! 突撃取材!」のインタビュー詳細版はホームページで。県政だより みえ Q検索
- 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ~輝け! 三重人~」で6月9日(金)22時15分から放送します。
- 三重テレビで放映した取材の様子(動画)を、6月10日(土)よりYouTubeでも配信。

問い合わせ先 戦略企画部 広報広報課 ☎059・224・2788 ☎059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp

三重テレビ7チャンネル「d」ボタンで



暮らしの便利帳

を選択! イベントなどの最新情報は三重県データ放送で!!



困ったときの「県の相談窓口」を掲載しています。ひとりで悩まず、ご相談ください。

こどもほっとダイヤル

0800・200・2555
毎日13時~21時
(12月29日~1月3日を除く)
【対象】
悩みを抱える18歳未満の子ども

少年相談110番(県警本部内)

0120・41・7867
月~金曜日 9時~17時
※祝・休日および年末年始は除く
【対象】
悩みを抱える子どもたちとその保護者など

24時間子供SOSダイヤル

0120・0・78310
毎日24時間
【対象】
いじめやその他子どもSOSについて悩む子どもや保護者の方
※他にも、相談窓口を紹介しています。

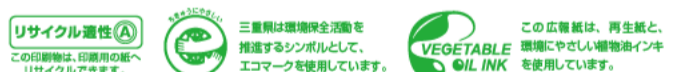
【県のテレビ番組】 ◆「県政チャンネル ~輝け! 三重人(みえびと)~」 金曜日22時15分~(第5週は放送なし)
三重テレビ(7ch) 県の取り組みを紹介する「現場に聞こう」や「知事突撃取材」などを放送。YouTubeでも配信します。

【県のラジオ番組】 ◆三重県からのおしらせ 月~金 7時43分~ 金 18時25分~
FM三重 ◆こんにちは三重県です 火 18時22分~

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。県政だより みえ Q検索

編集・発行/三重県広報課「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。
〒514-8570(住所不要) 三重県広報課
☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

三重県の人口・世帯数 人口/1,800,073人(男性:876,246人 女性:923,827人) 世帯数/726,812世帯 平成29年4月1日現在



この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。
三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。
この広告紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1404)までお問い合わせください。

広告! 探しています!

温熱敷ふとん(温熱電位治療器)回収のお知らせ
発煙・発火に至る恐れがある為、至急ご確認ください。

対象製品のご確認方法

お使いの「温熱敷ふとん(温熱電位治療器)」の製品名と医療用具承認番号をご確認ください。

医療用具承認番号	製品名
敷ふとん角のコーナーケース裏面に製品名と医療用具承認番号の記載があります。	コーナーケース
敷ふとん角のコーナーケース裏面に製品名と医療用具承認番号の記載があります。	コントローラー

◆コントローラー 製品名が記載されています。
◆コーナーケース 製品名と医療用具承認番号が記載されています。

対象製品	医療用具承認番号
BLさわやかヘルシー	61B 第592号
バランス	01B 第0872号
BLさわやかヘルシー	63B 第722号
バランス	04B 第0299号

※上記写真は「バランス」、「BLさわやかヘルシー」の例です。他の製品も同じ箇所に製品名と医療用具承認番号の記載があります。

※対象製品は他に8種ございます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

お問合せ窓口

ブリヂストン化成株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目6番1号 三井住友海上テコビル9階

温熱敷ふとん(温熱電位治療器) 専用コールセンター(フリーダイヤル) ☎0120-557-998

受付時間 午前9時~午後5時(平日のみ)

詳細は当社ホームページの重要なお知らせをご覧ください。
http://www.bridgestone-dcp.co.jp/

※お客様からご提供いただきましたお名前・ご住所・お電話番号などの個人情報は、当回収措置に関するご連絡などの目的以外には使用いたしません。

対象製品を回収させていただきますお客様には「羽毛布団・羊毛敷布団」をセットして無償でご提供いたします。
※商品に関して予告なく変更する場合があります。

多大なご心配とご迷惑をお掛けします事を、心より深くお詫び申し上げます。

家族葬から社葬まで、事前の相談も至急の依頼も

年中無休・24時間対応

株式会社 ふじや本店
光倫会館

【24時間365日】経験豊富な自社スタッフが対応
FreeDial 0120-114248

~会員制度「心の会」は入会金5千円のみ掛金不要 会員様募集中~

祭壇基本価格 10%割引	光倫会館使用料 全額無料	光倫会館仮安置料 1日分無料	専用寝台車基本料金 1台分当社負担
-----------------	-----------------	-------------------	----------------------

■本社/四日市光倫会館 〒510-0836 四日市市松本町北谷2015 ☎059-351-1151

■富田光倫会館 〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7 ☎059-361-2481

■光倫会館 桜ホール 〒512-1211 四日市市桜町6613 ☎059-325-2482

■津光倫会館 〒514-0054 津市納所町47-3 ☎059-228-1151